

7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

市民参画や、地域団体、NPOなどとの協働を通して、市民目線に立った施策と市民主体のまちづくりを進めるとともに、効率的で質の高い市民サービスの提供や、将来を見据えた健全な財政運営に取り組みます。

1.協働と連携によるまちづくり

新 (1) さくらじま地域おこし協力隊活動事業

(10,175千円)

地域おこし協力隊を桜島地域に配置し、地域ブランドのPRなどに取り組み、地域振興を図ります。



新 (2) まちづくり人材育成連携事業

(121千円)

連携協定を結んでいる市内6大学に、市職員等を派遣し、市政に関するワークショップや意見交換等を行います。



(3) コミュニティビジョン推進事業

(176,441千円)

活力ある地域コミュニティづくりを推進するため、各校区の地域コミュニティ協議会のプランに基づく活動や組織運営等を支援します。

(4) かごしま移住支援・プロモーション事業

(7,419千円)

本市への移住を検討している方を対象に移住体験ツアーを実施するなど、移住を促進します。

新 (5) LINEでつながる市政情報配信事業

(5,220千円)

市民により親しみやすく情報を発信するため、幅広い世代が利用しているLINEを活用して、市政情報を市民ニーズに合わせて配信します。



新 (6) 鹿児島市ブランドメッセージ浸透拡散事業～通称 マグマシティ計画～

(17,871千円)

本市のブランドメッセージ「あなたとわくわくマグマシティ」やキャラクター「さつマグニョン」を用いたブランディングキャンペーン等を展開します。



その他の主な事業

- ・みんなの町内会応援事業
- ・町内会加入促進事業
- ・市長とふれあいトーク
- ・市政広報パワーアップ事業
- ・広報紙「市民のひろば」の発行 など

7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

2.時代に合った行政運営と、将来を見据えた健全な財政運営

新 (1) コンビニ納付、モバイル決済サービス事業 (14,412千円)

市税などの納付手段の多様化を図るため、スマートフォン等を活用したモバイル決済サービスの導入に取り組みます。(3年4月開始予定)



モバイル決済のイメージ

新 (2) スマート自治体推進事業 (25,110千円)

新 (3) AI等活用推進事業 (5,846千円)

市民の利便性向上や業務の効率化を図るため、AI等の活用が見込まれる業務を抽出し分析するなどの調査を行うとともに、本年度は、議事録作成支援システムを導入します。

新 (4) 本庁舎案内ロボット活用検討事業 (1,500千円)

本庁舎の案内業務の推進を図るため、庁舎案内を行うロボットを試験的に配置します。

(5) 次期地域情報化計画策定事業 (1,500千円)

本市情報化推進の指針である第四次地域情報化計画の次期計画の策定に向け、市民意識調査を行います。

(6) 住居表示台帳等システム化事業 (20,330千円)

事務の効率化を図るため、統合型GIS庁内システムを活用した住居表示台帳等管理システムの構築を行います。

(7) 個人番号カード交付事業 (523,036千円)

個人番号カードの普及促進に取り組むとともに、同カードを活用したマイナポイント利用のためのマイキーIDの設定を支援します。



(8) 次期総合計画策定事業 (17,188千円)

次期総合計画基本構想の素案を作成し、総合計画審議会、市民との意見交換会及び若者会議等を開催します。

(9) ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略推進事業 (7,708千円)

ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略に基づき、先進的な取組を行う民間事業者等を支援するとともに、本市に居住するアジアからの外国人に対する情報提供方法を検討します。

その他の主な事業

- ・庁舎内広告導入事業(新)
- ・集中管理公用車広告導入事業(新)
- ・窓口手続オンライン化推進事業(新)
- ・口座振替データ伝送システム導入事業(新)
- ・障害者雇用の拡充
- ・基幹系ネットワーク再整備事業
- ・地方創生推進事業 など